



▲満開に咲き誇る王陵の丘のツツジ。

## 荒島で8千本が見頃 つつじ祭り

古代出雲王陵の丘で5月7日、今年で8回目となるつつじ祭りが開催されました。

丘内は、赤や白、ピンクなど色鮮やかな花が咲き誇り、約8千本のツツジが見頃。家族連れなどが墳墓へ続く階段を上がりながら、丘壁面を真っ赤に染めたツツジを楽しんでいました。

ふもとの駐車場では、まが玉づくりやドジョウのつかみどりなどのイベントが催され、多くの人でにぎわいました。ステージでは、作曲家・田部由美子さんが荒島地区活性化推進協議会の皆さんの思いを元に作詞作曲した王陵の丘のテーマソング「ふるさと賛歌 古代出雲王陵の丘」を披露され、歌い終わると大きな拍手が沸き起こりました。

## 全国の刃物が集合、刃物まつり 和鋼博物館では日本刀を展示

大型連休の5月4・5日に安来町中心市街地で「やすぎ刃物まつり」を開催しました。全国の有名刃物産地から40社が出店した刃物の展示即売では、お店の人に特徴や手入れ方法などを聞きながら多くの人々が刃物などを買い求めていました。

福島伸さん（松江市）は「釣りが趣味で、釣った魚をさばく小さめの出刃包丁を買いました。いい物ができました」と話してくれました。

一方、和鋼博物館では日本遺産認定を記念した「伝統の美～日本刀～」展を5月3日から開催。重要美術品や重要刀剣に指定されている貴重な刀剣が展示され、訪れた人は独特の波紋や反りの曲線美に見入っていました。



まちの話題や出来事をご紹介します



## 月山山頂 大もみぢ救出大作戦

山頂に生える大もみじの環境整備が4月29日に行われました。作戦には地元の中学生や学生など約200人が参加。秋の紅葉が楽しみです。

今月の一枚



▶22回目となる今年の刃物まつりは、天候にも恵まれ31,000人の来場者でにぎわいました。



◀「国安」「安綱」といった銘の刀剣が並びます。記念展の会期は6月11日まで。





## アユさん、元気に戻ってきて

伯太川の上流に位置する井尻小学校で5月9日、児童が稚アユの放流を行いました。

この催しは「十神会伯太川を愛護する会」（渡部義三会長）が自然環境の大切さを伝えるため平成20年から行っているもの。当日、児童たちは伯太川へ移動。稚アユの入ったバケツをゆっくり傾けると、アユは飛び跳ねて川へ巣立っていきました。

2年生の和田夏音さんは「大きく育て、また、この場所に帰ってきてほしい」と願っていました。

## シバザクラと新緑と青空のハーモニー～東比田猿隠高原

市内でいちばん高い猿隠山の麓、広瀬町東比田の猿隠高原（永田自治会周辺）では「シバザクラ」が訪れる人の目を楽しませていました。3年前から雑草の抑制と景観づくりのために、水田ののり面に植えられた花は今年、約0.5畝に拡大。ピンクや赤、白色の色彩が、田植え前の水田に映り、新緑と青空との美しい対比を醸し出していました。

4月29日にはステージや特産品販売などのイベントが開催され、多くの人でにぎわいました。



▲シバザクラは3カ所に植えられています。

## イザナミ眠る比婆山を散策

国産みの神イザナミが葬られたとされる比婆山（伯太町井尻）周辺で5月7日、恒例のイザナミ祭り（主催：比婆山神話フェスタ実行委員会）が開催されました。

祭りでは、麓の久米神社里宮でイベントが行われた後、約80人が清水搔参道からウオークを開始。頂上の久米神社奥宮や玉抱石、陰陽竹などの名所や見どころを巡りながら心地よい汗を流しました。

毎回参加しているという宮本勢津子さん（安来町）は、「新緑から差し込む木漏れ日が気持ちよかった」と話していました。



## 山佐ダムに2500人 楽しい課外授業

自然に囲まれたダム湖畔で音楽や遊びなどを楽しむ「山奥の楽しい課外授業」が4月16日、山佐ダムキャンプ場で開催されました。

会場では、市内外から26団体が出店したほか、ステージで神楽やジャズの演奏などが催されました。また、中央部には高さ6畝の巨大な手作り竹遊具が設置され、子どもたちが登ったり、竹製のスライダーを滑ったりと、にぎやかな声が会場に響いていました。

この日は天気にも恵まれ、SNS（ソーシャル・ネット・ワーク）などを見た約2500人が来場。子どもの手を引く若い家族連れが多く見られ、自然豊かな山佐ダムで春の一日を満喫していました。